

2020年夏季東京オリンピック・パラリンピックまでの  
7年間に何をするかを考えよう

— 7年後の自分の未来は自分で切り開こう —

開倫塾

塾長 林 明夫

Q : 7年後の2020年に、東京で夏季オリンピック・パラリンピックが開催されることが決まりましたね。

A : (林明夫 : 以下省略)

(1) 「おもてなし」を前面に出した下村博文・文部科学大臣はじめ関係者の皆様の血のにじむような御尽力と国民の皆様の御理解・御協力の結果、前回の1964年から56年ぶりの東京開催が決定されました。私は、本当に素晴らしいことだと感激しています。

(2) 日本は、これからの約7年間はチャンスに恵まれた希望の期間に突入しますよ。

Q : 開倫塾の塾生の皆さんに期待することは何ですか。

A : (1) 何と言っても、オリンピック・パラリンピックに日本代表選手として出場して頂きたいということですね。

(2) 2020年夏までには、あと6年半余りあります。現在取り組んでいるスポーツ種目にとらわれず、自分の潜在可能性を一日も早く自分自身で見出して、その潜在可能性が最大限発揮できるスポーツの種目を極めれば、必ず日本代表選手になれると私は考えます。

Q : 2020年夏季東京オリンピック・パラリンピックの日本代表選手ですか。なれるようにがんばってみようかな。選手以外で、開倫塾の塾生の皆さんに期待することはありますか。

A : たくさんあります。

(1) オリンピック・パラリンピックは、4年に一度開催される平和の祭典と言われています。そこで、それらの歴史を学習することを期待します。オリンピックやパラリンピックは、どこで、どのようにして始まったのか。今までどの国や地域で開催されたのか。どのような困難があり、どのように乗り越えたのか。このようなことを是非学んでください。

(2) 競技種目や各種目の特徴・ルール・練習の仕方なども是非学習してください。すべての競技種目には歴史的な成果を上げたチームや選手が存在しますので、その素晴らしさも学んでください。

(3) オリンピック・パラリンピックについてよく学習した上で、自分に一番合った形でオリンピック・パラリンピックに参加してください。自分のスポーツとして競技種目の練習を積み重ねる、ボランティアとして活動する、観客として応援するなど、いろいろな参加の仕方があると思います。

Q：ここまではよくわかりました。ところで、今回のテーマである「2020年夏季東京オリンピック・パラリンピックまでの7年間に何をするかを考えよう。7年後の自分の未来は自分で切り開こう」とはどういうことですか。

A：(1)2020年夏季東京オリンピック・パラリンピックの日本代表を目指す選手の皆様は、文字どおり「一所懸命」に、「一つの所で命を懸けるくらい熱心に」これからの7年間を過ごすと考えられます。いろいろな方々の支援はあるでしょうが、最終的には誰も助けてくれません。自分自身の練習、努力だけがすべてです。

(2)そうであるならば、オリンピック・パラリンピック日本代表を目指す選手の皆様と同様に、これから7年間、我々も自分自身の目標をつくって「一所懸命」にものごとに取り組むとよいと考えます。

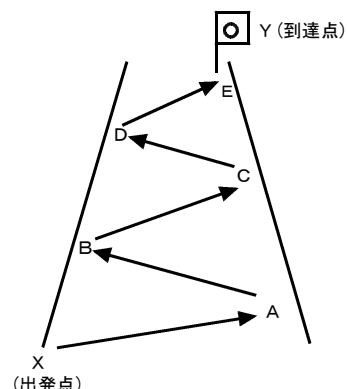
(3)小学生の皆さんは7年後に中学生・高校生になったらどうするか、中学生の皆さんは7年後に高校生・大学生になったらどうするか、高校生の皆さんは7年後に大学生・大学院生になったら、また、社会に出ていたらどうするかを思い描いて、7年後の夏季東京オリンピック・パラリンピック出場を目指す選手の皆様と同様に、今やるべきことをコツコツとやり抜くことです。

Q：そうですね。7年間あればいろいろなことができますよね。

A：(1)ただ、7年間はとても長いようで、とても短くもあります。ボーッとしているとアッと言う間に過ぎてしまいます。

(2)大切なのは、7年後の自分の姿を思い描いて、その姿をゴール・到達点と考えることです。ゴールがはっきりと決ったら、今いる場所からそのゴールに到達するにはどうしたらよいかを考えることです。

(3)すると、Xという出発点からYという到達点に行くためには、その途中でA、B、C、E、Eという5つの点を通り抜けなければならないことがわかります。



(4)例えば、今、中学校1年生の皆さんは、7年後の2020年に自分はどうなりたいかを考えてみてください。うまくいけば大学1年生になっていますね。どこの大学の何学部の1年生になりたいかが明確に決まれば、約7年間ありますから、かなりの確率でその夢は実現します。

(5)医学部の学生になりたいければ、それになることもできます。ただ、そのためには中学校でよく学習し、高校入試に合格しなければなりません。高校でよく学習し、大学の医学部に入学しなければなりません。1つ1つの通過点を確実にクリアすることが求められます。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)2020年夏季東京オリンピック・パラリンピックを目指す選手の皆様は、自分のため、家族のため、友人のため、また、日本のため、世界の平和のためなど様々な目的のために毎日の練習に励んでいます。

(2)医学部に入学したいと希望する方は、医師になって何をしたいのかをいつも考え続けることが大切です。医学部に入りたいということだけで中学校・高校時代を過ごす、医学部入学が目的となってしまうので、入学後に心にポッカリと穴が開いてしまって十分な学習ができないからです。また、医師になってからも医師としてのあるべき仕事ができないからです。

(3)何のためにオリンピック・パラリンピックに出場するのかを考えることが選手に求められるように、ものごとに取り組むときは「何のために」を常に考え続けることが大切だと私は考えます。

(宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授)

— 2011年11月18日記 —